



MPLS ラベルインポジションの設定

この章では、マルチプロトコルラベルスイッチング（MPLS）ラベルインポジションの設定方法について説明します。

- [MPLS ラベルインポジションについて \(1 ページ\)](#)
- [MPLS ラベルインポジションに関する注意事項と制限事項 \(2 ページ\)](#)
- [MPLS ラベルインポジションの設定 \(3 ページ\)](#)
- [MPLS ラベルインポジション設定の確認 \(6 ページ\)](#)
- [MPLS ラベルインポジション統計の表示 \(8 ページ\)](#)
- [MPLS ラベルインポジション統計のクリア \(10 ページ\)](#)
- [MPLS ラベルインポジションの設定例 \(10 ページ\)](#)

MPLS ラベルインポジションについて

MPLS ラベルスタックインポジション機能を使用して、1つ以上のラベルを持つ発信ラベルスタックを静的にプロビジョニングできます。発信ラベルスタックは、次の2種類の静的に設定された MPLS バインディングで使用されます。

- ラベルスタックへのプレフィックスとラベル：ここでは、静的 MPLS と同様に、IP プレフィックスまたは着信ラベルが発信スタックにマッピングされます。着信プレフィックスは、IP のみの入力トラフィックの `out-label-stack` にマッピングされます。
- ラベルスタックへのラベル：ここでは、受信ラベルのみがプレフィックスなしで送信スタックにマップされます。

新しい MPLS バインディングタイプは静的 MPLS コンポーネントに実装され、**feature mpls segment-routing** コマンドが有効になっている場合にのみ使用できます。

MPLS ラベルインポジションの設定されたネクストホップが SR 再帰ネクストホップ (RNH) である場合、それらは RIB を使用して実際のネクストホップに解決されます。`out-label` スタックの外部ラベルは、SR によって割り当てられたラベルから自動的にインポジションされます。

ECMP は、いくつかのパス構成を追加することによってもサポートされます。



(注)

静的 MPLS プロセスは、**feature mpls segment-routing** コマンドまたは**feature mpls static** コマンドのいずれかが実行されたときに開始されます。**feature mpls segment-routing** コマンドを使用してスタティック MPLS を実行すると、一部の標準スタティック MPLS コマンドを使用できなくなり、**feature mpls static** コマンドを実行すると、MPLS バインディングのコマンドを使用できなくなります。

MPLS ラベルインポジションに関する注意事項と制限事項

MPLS ラベルインポジションに関する注意事項と制約事項は次のとおりです。

- MPLS ラベルインポジションは、以下のスイッチでサポートされています。
 - 9400、9500、9600、および 9700-FX ラインカードを搭載した Cisco Nexus 9200、9300、9300-EX、9300-FX、および 9500 プラットフォーム スイッチ。
 - Cisco Nexus 3164Q、31128PQ、3232C、および 3264Q スイッチ。
 - Cisco NX-OS リリース 9.2(1) リリース以降、Cisco Nexus 9364C スイッチでサポートされています。
 - Cisco NX-OS リリース 9.3(3) 以降、Cisco Nexus 9364C-GX、Cisco Nexus 9316D-GX、および Cisco Nexus 93600CD-GX スイッチでサポートされています。
- MPLS ラベルインポジションは、IPv4 のみをサポートします。
- アウトラベルスタックのラベルの最大数は、Cisco Nexus 9200、9300-EX、および 9300-FX プラットフォーム スイッチの場合は 5、Cisco Nexus 9300 と 9500 プラットフォーム スイッチおよび Cisco Nexus 3164Q、31128PQ、3232C、および 3264Q スイッチの場合は 3 です。これより多くのラベルをインポーズしようとすると、後続のラベルが自動的に切り捨てられ、syslog エラー メッセージが表示され、構成を修正するように通知されます。
- マルチキャストは、MPLS ラベルインポジションではサポートされていません。
- マルチラベル スタック構成では、発信パスの変更は Cisco Nexus 9200 および 9300-EX シリーズ スイッチでのみ許可されます。
- サブインターフェイスとポート チャネルは、MPLS ラベルインポジションではサポートされていません。
- ルーティングプロトコル(スタティック ルートを含む)から学習したプレフィックスおよび関連するサブネットマスクは、ラベルスタックインポジションポリシーの一部として使用できません。
- ラベル スタック インポジションの検証済みスケーラビリティ制限については、お使いのデバイスの『[検証済みスケーラビリティ ガイド](#)』を参照してください。

MPLS ラベルインポジションの設定

MPLS ラベルインポジションの有効化

MPLS ラベルインポジションを設定するには、MPLS 機能セットをインストールして有効にしてから、MPLS セグメントルーティング機能を有効にする必要があります。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal 例： <pre>switch# configure terminal switch(config)#</pre>	グローバル設定モードを開始します。
ステップ 2	[no] install feature-set mpls 例： <pre>switch(config)# install feature-set mpls</pre>	MPLS 機能セットを有効化します。このコマンドの no 形式は、MPLS 機能セットをアンインストールします。
ステップ 3	[no] feature-set mpls 例： <pre>switch(config)# feature-set mpls</pre>	MPLS フィーチャ セットをイネーブルにします。このコマンドの no 形式は、MPLS 機能セットを無効化します。
ステップ 4	[no] feature mpls segment-routing 例： <pre>switch(config)# feature mpls segment-routing</pre>	MPLS セグメントルーティング機能を有効化します。このコマンドの no 形式は、MPLS セグメントルーティング機能を無効化します。
ステップ 5	(任意) show feature-set 例： <pre>switch(config)# show feature-set Feature Set Name ID State ----- ----- mpls 4 enabled</pre>	MPLS 機能セットのステータスを表示します。
ステップ 6	(任意) show feature grep segment-routing 例： <pre>switch(config)# show feature grep segment-routing segment-routing 1 enabled</pre>	MPLS セグメントルーティングのステータスを表示します。

MPLS ラベルインポジション用のラベルの予約

	コマンドまたはアクション	目的
--	--------------	----

MPLS ラベルインポジション用のラベルの予約

スタティックに割り当てるラベルを予約します。動的なラベル割り当てはサポートされていません。

始める前に

MPLS セグメントルーティング機能が有効になっていることを確認します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal 例： switch# configure terminal switch(config)#	グローバルコンフィギュレーションモードを開始します
ステップ 2	[no] mpls label range min-value max-value [static min-static-value max-static-value] 例： switch(config)# mpls label range 17 99 static 100 10000	スタティックラベル割り当てに使用する一連のラベルを予約します。 最小値と最大値の範囲は16～471804です。
ステップ 3	(任意) show mpls label range 例： switch(config)# show mpls label range	スタティック MPLS に設定されているラベル範囲を表示します。
ステップ 4	(任意) copy running-config startup-config 例： switch(config)# copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。

MPLS ラベルインポジションの設定

デバイスに MPLS ラベルインポジションを設定できます。



(注) **feature mpls segment-routing** コマンドは、**feature nv overlay**、**nv overlay evpn**、**feature vpc**、および**feature vn-segment-vlan-based** コマンドが使用されている場合、有効にすることはできません。

始める前に

MPLS セグメントルーティング機能が有効になっていることを確認します。

静的ラベル範囲を次のように設定します。 **mpls label range 16 16 static 17 50000**

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	configure terminal 例： <pre>switch# configure terminal switch(config)#</pre>	グローバルコンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ2	interface type slot/port 例： <pre>switch(config)# interface ethernet 2/2 switch(config-if)#</pre>	指定したインターフェイスのインターフェイスコンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ3	[no] mpls ip forwarding 例： <pre>switch(config-if)# mpls ip forwarding</pre>	指定されたインターフェイスで MPLS を有効にします。このコマンドの no 形式は、指定されたインターフェイスで MPLS を無効にします。
ステップ4	mpls static configuration 例： <pre>switch(config-if)# mpls static configuration switch(config-mpls-static)#</pre>	MPLS 静的グローバルコンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ5	address-family ipv4 unicast 例： <pre>switch(config-mpls-static)# address-family ipv4 unicast switch(config-mpls-static-af)#</pre>	指定された IPv4 アドレスファミリに対応するグローバルアドレスファミリコンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ6	lsp name 例： <pre>switch(config-mpls-static-af)# lsp lsp1 switch(config-mpls-static-lsp)#</pre>	LSP の名前を指定します。
ステップ7	in-label value allocate policy prefix 例： <pre>switch(config-mpls-static-lsp)# in-label 8100 allocate policy 15.15.1.0/24 switch(config-mpls-static-lsp-inlabel)#</pre>	in-label 値とプレフィックス値を設定します（オプション）。

MPLS ラベルインポジション設定の確認

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 8	forward 例： <pre>switch(config-mpls-static-lsp-inlabel)# forward switch(config-mpls-static-lsp-inlabel-forw)#</pre>	転送モードに入ります。
ステップ 9	path number next-hop ip-address out-label-stack label-id label-id 例： <pre>switch(config-mpls-static-lsp-inlabel-forw)# path 1 next-hop 13.13.13.13 out-label-stack 16 3000</pre>	パスを指定します。サポートされるパスの最大数は 32 です。
ステップ 10	(任意) copy running-config startup-config 例： <pre>switch(config-mpls-static-lsp-inlabel-forw)# copy running-config startup-config</pre>	実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。

MPLS ラベルインポジション設定の確認

MPLS ラベルインポジション設定を表示するには、次のいずれかの作業を行います。

コマンド	目的
show feature grep segment-routing	MPLS ラベルインポジションのステータスを表示します。
show feature-set	MPLS 機能セットのステータスを表示します。
show forwarding mpls label label	特定のラベルの MPLS ラベル転送統計情報を表示します。
show mpls label range	MPLS ラベルインポジションに設定されているラベル範囲を表示します。
show mpls static binding {all ipv4}	設定された静的プレフィックスまたはラベルバインディングを表示します。
show mpls switching [detail]	MPLS ラベルスイッチングの情報を表示します。
show running-config mpls static	実行中の静的 MPLS 設定を表示します。

次に、**show forwarding mpls label 8100** コマンドの出力例を示します。

slot 1							
=====							
Local Prefix FEC	id) Label	Next-Hop	Interface	Out Label	Table Id	(Prefix/Tunnel	
8100 0x1	17	25.25.0.0/16	12.12.1.2	Po121	3131 SWAP		
" 0x1	17	25.25.0.0/16	12.12.2.2	Eth1/51	3131 SWAP		
" 0x1	17	25.25.0.0/16	12.12.3.2	Vlan122	3131 SWAP		
" 0x1	17	25.25.0.0/16	12.12.4.2	Vlan123	3131 SWAP		

次に、**show mpls static binding all** コマンドの出力例を示します。

```
LI_TEST1 25.25.0.0/16: (vrf: default) Incoming label: 8100
LSP Type: POLICY
    Outgoing labels:
        (path 1) 12.12.1.2 3131,17
        (path 2) 12.12.2.2 3131,17
        (path 3) 12.12.3.2 3131,17
        (path 4) 12.12.4.2 3131,17

LI_TEST2 (vrf: default) Incoming label: 8200
LSP Type: XC
    Outgoing labels:
        (path 1) 12.12.3.2 3132,16
        (path 2) 12.12.4.2 3132,16
        (path 3) 12.12.1.2 3132,16
        (path 4) 12.12.2.2 3132,16
```

次に、**show mpls switching** コマンドの出力例を示します。

Legend:

(P)=Protected, (F)=FRR active, (*)=more labels in stack.

Local	Out-Label	FEC	Out-Interface
Next-Hop			
8200	3132	Label 8200	*
12.12.3.2			*
8200	3132	Label 8200	*
12.12.4.2			*
8200	3132	Label 8200	*
12.12.1.2			*
8200	3132	Label 8200	*
12.12.2.2			*
Local	Out-Label	FEC	Out-Interface
Next-Hop			
8100	3131	Pol 25.25.0.0/16	*
12.12.1.2			*
8100	3131	Pol 25.25.0.0/16	*
12.12.2.2			*
8100	3131	Pol 25.25.0.0/16	*
12.12.3.2			*
8100	3131	Pol 25.25.0.0/16	*
12.12.4.2			*

次に、**show running-config mpls static** コマンドの出力例を示します。

MPLS ラベルインポジション統計の表示

```
mpls static configuration
  address-family ipv4 unicast
    lsp LI_TEST2
      in-label 8100 allocate policy 25.25.0.0 255.255.0.0
        forward
          path 1 next-hop 12.12.1.2 out-label-stack 3131 17
          path 2 next-hop 12.12.2.2 out-label-stack 3131 17
          path 3 next-hop 12.12.3.2 out-label-stack 3131 17
          path 4 next-hop 12.12.4.2 out-label-stack 3131 17
```

次に、**show running-config mpls static all** コマンドの出力例を示します。

```
switch# show running-config mpls static all

!Command: show running-config mpls static all
!Time: Mon Aug 21 14:59:46 2017

version 7.0(3)I7(1)
logging level mpls static 5
mpls static configuration
  address-family ipv4 unicast
    lsp 9_label_stack_LPM
      in-label 72000 allocate policy 71.200.11.0 255.255.255.0
        forward
          path 1 next-hop 27.1.32.4 out-label-stack 21901 29701 27401 24501 25801
          lsp 9_label_stack_LPM_01
          in-label 72001 allocate policy 72.201.1.1 255.255.255.255
          lsp DRV-01
          in-label 71011 allocate policy 71.111.21.0 255.255.255.0
        forward
          path 1 next-hop 27.1.31.4 out-label-stack implicit-null
          lsp DRV-02
          in-label 71012 allocate policy 71.111.22.0 255.255.255.0
        forward
          path 1 next-hop 8.8.8.8 out-label-stack 28901
          lsp DRV-03
switch# show forwarding mpls label 72000

slot 1
=====
-----+-----+-----+-----+-----+-----+
Local |Prefix |FEC |Next-Hop |Interface |Out
Label |Table Id |(Prefix/Tunnel id) | | |Label
-----+-----+-----+-----+-----+-----+
72000 |0x1 |71.200.11.0/24 |27.1.32.4 |Eth1/21 |21901 SWAP
| | | | | 29701
| | | | | 27401
| | | | | 24501
| | | | | 25801
```

MPLS ラベルインポジション統計の表示

MPLS ラベルインポジションの統計情報を監視するには、次のいずれかのタスクを実行します。

コマンド	目的
show forwarding [ipv4] adjacency mpls stats	MPLS IPv4 隣接関係統計を（パケットとバイトの両方で）表示します。 (注) Cisco Nexus 9200 および 9300-EX シリーズ スイッチは、このコマンドをサポートしていません。
show forwarding mpls label <i>label</i> stats [platform]	MPLS ラベル転送の統計情報を表示します。
show mpls forwarding statistics [interface <i>type slot/port</i>]	MPLS 転送の統計情報を表示します。
show mpls switching labels <i>low-label-value</i> [<i>high-label-value</i>] [detail]	MPLS ラベルスイッチングの統計情報を表示します。ラベル値の範囲は 0 ~ 524286 です。

次に、**show forwarding adjacency mpls stats** コマンドの出力例を示します。

slot	1						
=====							
FEC	next-hop	interface	tx packets	tx bytes	Label	info	
12.12.3.2	Vlan122	0	0	SWAP	3131	17	
12.12.3.2	Vlan122	0	0	SWAP	3132	16	
12.12.4.2	Vlan123	0	0	SWAP	3131	17	
12.12.4.2	Vlan123	0	0	SWAP	3132	16	
12.12.1.2	Po121	0	0	SWAP	3131	17	
12.12.1.2	Po121	0	0	SWAP	3132	16	
12.12.2.2	Eth1/51	0	0	SWAP	3131	17	
12.12.2.2	Eth1/51	0	0	SWAP	3132	16	

次に、**show forwarding mpls label 8100 stats** コマンドの出力例を示します。

slot	1					
=====						
Local Label	Prefix Table Id	FEC (Prefix/Tunnel id)	Next-Hop	Interface	Out Label	
8100 SWAP	0x1	25.25.0.0/16	12.12.1.2	Po121	3131	
" SWAP	0x1	25.25.0.0/16	12.12.2.2	Eth1/51	3131	
" SWAP	0x1	25.25.0.0/16	12.12.3.2	Vlan122	3131	
" SWAP	0x1	25.25.0.0/16	12.12.4.2	Vlan123	3131	
						17

MPLS ラベルインポジション統計のクリア

```
TUNNEL Output Pkts: 126959053      TUNNEL Output Bytes: 66272319384
```

次に、**show mpls forwarding statistics** コマンドの出力例を示します。

```
MPLS software forwarding stats summary:
  Packets/Bytes sent          : 0/0
  Packets/Bytes received       : 0/0
  Packets/Bytes forwarded      : 0/0
  Packets/Bytes originated     : 0/0
  Packets/Bytes consumed       : 0/0
  Packets/Bytes input dropped  : 0/0
  Packets/Bytes output dropped : 0/0
```

MPLS ラベルインポジション統計のクリア

MPLS ラベルインポジションの統計情報をクリアするには、次の作業を行います。

コマンド	目的
clear forwarding [ipv4] adjacency mpls stats	MPLS IPv4 隣接関係の統計情報を消去します。
clear forwarding mpls stats	入力 MPLS 転送統計情報をクリアします。
clear mpls forwarding statistics	MPLS 転送統計情報をクリアします。
clear mpls switching label statistics [interface type slot/port]	MPLS スイッチング ラベルの統計情報をクリアします。

MPLS ラベルインポジションの設定例

次の例は、プレフィックスと incoming-label を out-label-stack バインディングに割り当てることにより、MPLS ラベルインポジションを設定する方法を示しています。

```
switch(config-if)# mpls static configuration
switch(config-mpls-static)# address-family ipv4 unicast
switch(config-mpls-static-af)# lsp LI_TEST1
switch(config-mpls-static-lsp)# in-label 8100 allocate policy 25.25.0.0/16
switch(config-mpls-static-lsp-inlabel)# forward
switch(config-mpls-static-lsp-inlabel-forw)# path 1 next-hop 12.12.1.2 out-label-stack
3131 17
switch(config-mpls-static-lsp-inlabel-forw)# path 2 next-hop 12.12.2.2 out-label-stack
3131 17
switch(config-mpls-static-lsp-inlabel-forw)# path 3 next-hop 12.12.3.2 out-label-stack
3131 17
switch(config-mpls-static-lsp-inlabel-forw)# path 4 next-hop 12.12.4.2 out-label-stack
3131 17
```

next-hop を削除するには、次を使用できます：

```
no path 1
```

指定された lsp を削除するには、次を使用できます：

```
no lsp LI_TEST1
```

次の例は、incoming-label を out-label-stack バインディングに割り当てることにより、MPLS ラベルインポジションを設定する方法を示しています（プレフィックスなし）。

```
switch(config-if)# mpls static configuration
switch(config-mpls-static)# address-family ipv4 unicast
switch(config-mpls-static-af)# lsp LI_TEST1
switch(config-mpls-static-lsp)# in-label 8200 allocate
switch(config-mpls-static-lsp-inlabel)# forward
switch(config-mpls-static-lsp-inlabel-forw)# path 1 next-hop 12.12.3.2 out-label-stack
3132 16
switch(config-mpls-static-lsp-inlabel-forw)# path 2 next-hop 12.12.4.2 out-label-stack
3132 16
switch(config-mpls-static-lsp-inlabel-forw)# path 3 next-hop 12.12.1.2 out-label-stack
3132 16
switch(config-mpls-static-lsp-inlabel-forw)# path 4 next-hop 12.12.2.2 out-label-stack
3132 16
```

MPLS ラベルインポジションの設定例

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。